

第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

一般社団法人アスラサポート

②施設名等

名称：	さいたま西乳児院
施設長氏名：	上原 淳子
定員：	20名
所在地(都道府県)：	埼玉県

③理念・基本方針

<p>養育理念 常に安心・安全な生活環境を整え、子どもたちの人権と個性を尊重するとともに、豊かな体験を通して成長・発達を促し、深い愛情を育みます。</p> <p>養育方針</p> <p>1. 安心・安全な環境 言葉で意思表示できず、一人では生活することが出来ない乳幼児の生命を守り、事故・感染症などの防止を含めた安心・安全な養育環境を整える。</p> <p>2. 施設の小規模化 家庭養護と個別化の実践のため、定員を20名とし1ユニット4～6名の小規模グループケアを実施する。</p> <p>3. 専門的養育機能の提供と職員の資質向上 乳幼児の基本的な養育機能に加え、様々な問題に対応出来る専門的機能を提供するため、職員の教育・研修を実施し専門性の向上を図る。</p> <p>4. 家族や地域への支援・連携 子育て支援機能(育児相談やショートステイ等)や保護者支援、退所後のアフターケアを含む支援機能の充実を図るとともに地域社会の関係機関との連携に取り組む。</p> <p>5. 一時保護機能の充実 児童相談所との連携を図り、一時保護機能を担うとともに、アセスメント機能を充実させ、子ども一人ひとりの自立支援計画を策定する。</p> <p>6. 里親支援 里親支援の拠点となるよう、相談・ショートステイ等を行うことで里親への継続的な支援を行う。</p>
--

④施設の特徴的な取組

1グループ4～6名のユニットケア、担当養育性 院庭で育てたいちご狩りやサツマイモ収穫体験、調理体験による食育

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2025/7/11	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2025/10/28	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	令和4年度（和暦）	

⑥総評

<p>◇特に評価の高い点 地域の施設 一時保護 困っているこどものために一時保護をできるだけ受け入れようと施設全体で体制を整えている 夜間や管理者が不在時でも受け入れられるよう最低限聞取らなければならないチェックリストを設けこどもの受け入れを行っている さらに毎朝朝礼で受け入れられるか否かの確認を行い全体で共有している 通常の受入れ以上に安全かつ迅速に丁寧な対応が求められ、在院児の支援もある中で養護職員だけでなく施設全体で受け入れフォローしている施設は地域になくてはならない施設である</p> <p>里親普及 乳児院から出た先の受入れ里親を普及すべく積極的に普及活動を行っている 埼玉県は全国的にみても里親が充足してとは言えない中、関係各所と連携を図りながら施設としてできる限りの活動を行い少しでもこどもの家庭的な養育に向けて努めている</p> <p>運営の見直し 今年度は施設全体の運営の見直しを図っており組織改革に取り組んでいる 今まではマニュアルは随時更新はされていたがBCP見直しは子どもや職員の命を守るため抜本的に改定している最中である 予算に関してはP D C Aが活かされ年度途中であっても優先順位を考え臨機応変に変更し実施するなど会計士と連携し環境作りを行っている施設である</p> <p>愛着形成と楽しさ 特に乳幼児期に大切な愛着形成を養育に取り組んでいる 子どもには担当制を引きどんな時でもできる限り抱っこをするなど1対1の愛着関係に努めている 「家庭に近い状況を作る」を方針に職員に男性を配置する・配慮された入浴や食事は職員と共にするなど職員のこどもたちへの温かいきめ細やかな支援が施設全体から感じられる また遠足などの行事では開始する前から写真や話をし、待ち遠しく期待をこどもたちに与えたり、おやつと一緒に作ったり職員とこどもたちが一緒に楽しんでいる様子が伺えた</p> <p>◇今後期待したい点 埼玉県では里親がまだまだ少なく待っているこども達も少なくありません 施設としてもすでに活動されていますが今後も継続的に普及活動に注がれこどもたちの安定した養育につながるよう期待します 中長期計画を策定し職員が迷うことなく支援できるよう、また地域に無くてはならないさいたま西乳児院が長く安定して運営が行われるよう期待します</p>

⑦第三者評価結果に対する施設のコメント

一時保護の受け入れや里親支援・普及活動に対する評価ありがとうございます。
養育の中での工夫、行事の前には、写真を貼ったり、話をすることで行事がより楽しいものとなるようにしていることなど、評価していただきました。
今年度は、施設全体の運営、体制の見直しを行っており、不十分な点も多くあり、ご指摘いただいた点は真摯に受け止め早急に改善していきたいと思いをします。

⑧第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・理念と基本方針はパンフレットやホームページに記載し職員や利用者への周知に努めている ・職員は毎日読み合わせを行っている ・現在、保護者や関係機関向けのパンフレットは養育方針を「家族が地域で幸せに過ごすための支援」とまとめ6つの方針を一目で理解できる図にする等よりわかりやすいよう改定中である 	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・県乳児院協議会の会議や研修に施設長が参加し福祉行政の施策や最新の動向に関する情報を収集・分析している また施設長は積極的に関係機関や委託先などと話をし園としての必要な事柄を取り入れようと積極的に努めている 	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・安定した運営のコスト分析をするために新たな職員を配置し施設長と経営課題を共有・検討している ・全体の予算管理の中で設備の入替えやセキュリティ対策の見直し、ものによってはボランティアに依頼するなど効率的な予算管理が進められている ・予算管理は会計事務所の助言のもと優先順位を定め実行している ・経営課題は年度初めの会議で共有している 	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画は策定されていないが今後策定していく意向がある 	
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画は策定されていない ・単年度計画には養育方針・入所時の受入れ・処遇・安全対策・環境整備・職員体制・研修・財源・評価と改善・里親推進と支援・地域社会との連携・ショートステイなど記載され入所したこどもが心身ともに健やかに成長できるよう努めている 	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の運営状況を施設長と事務長が評価し各会議での内容や各ユニットからの報告・意見を集約し策定している また毎年、重点目標を定め職員が取り組む方針を明確にしている ・計画や重点目標は年度初めに職員へ資料を配布し理解に努めている 	

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に向けてパンフレット等の情報を提供し保護者が入所前から院の方針や支援について安心して理解できるよう配慮している ・保護者には入所時や面会時に理念や養育方針、日課、行事予定など主な内容を丁寧に説明し理解が深まるよう努めている ・今後は保護者が後からでも確認できるようなわかりやすい資料の作成・配布に期待したい 		

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1)	質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・3年に一度の第三者評価を受審し外部の意見を取り入れて改善に努めている ・職員の育成は特に入職2年目まで重視し担当者と共にチェックシートを用いOJTを行っている ・チェックシートは社会人・組織人としての基本的な姿勢、子どもの権利擁護、専門的知識、基本的知識、各業務の手順や留意点が準備～実施～終了まで一連の流れとして明確に示され説明時・1か月・3か月・6か月・1年で自己とOJT担当者がそれぞれチェックし理解度や成長の度合いを把握しやすいものとなっている ・院内研修後はアンケートを実施し研修内容の理解度や今後の改善点の把握に努めている ・朝礼時、適切な関わりをするためのチェックポイントや具体的に褒める・会話の繰り返し・行動を言葉にするを読み合わせ日々支援で忙し中流されないように毎日確認している ・今後は3年以上の職員にもチェックシートの活用を検討している 		
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・各会議や委員会で検討された課題は会議録に議題・決定事項とわかりやすく記載し職員は共有し日々の業務に取り入れている ・守るべきルールはそれぞれの実施場所に図やイラストを用いて掲示し確実に実行できるようにしている ・こども支援は各ユニットで日々見直しと改善が行われている 		

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1)	施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・業務分掌や災害時の役割を明示し、施設長不在時の権限委任も定めている ・職員の意見を出しやすくするために自らアイデアを参考意見として言っている ・看護師の施設長は自らユニットに入り職員のサポートをしこどもの小さな変化やユニットの課題などを拾い上げている 		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・全国乳児福祉協議会や埼玉県乳児福祉協議会、関東ブロック大会、施設長研修会、行政支援課などから新しい法令や制度の情報を入手し理解と遵守に努めている ・研修後は報告書にまとめ職員全員が同じ理解できるよう努めている 		
(2)	施設長のリーダーシップが発揮されている。	
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設長は職員に対し「楽しく支援してもらいたい」「公私を充実したものにしてもらいたい」という思いで働きやすい環境づくりに努めている ・日常的に「こんなことやってみない?」「この行事はどうだろう?」と声をかけながら職員の発想を引き出すよう努めている ・会議では自ら意見の出し方を示し職員が発言しやすい雰囲気作りに努めている 		
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・経営課題は施設長と事務長が分析や検討を行い、さらに役員会議で改善策を話し合っている ・業務課題は自らユニットに入り職員とともに子どものケアを行い現場を理解した上で改善点の抽出に努めている ・抽出した課題はさらに各会議や委員会で意見を吸い上げ改善に取り組んでいる 		

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画は策定されていない ・今後は必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画を策定し安定した人材の確保・育成が行われることを期待します 		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・法人の基準に基づき総合的な人事管理が行われている ・施設長は年2回面談を実施し職員の意向の把握に努め振り返りや目標設定を行い施設から期待する役割を伝えている ・今年度「期待する職員像」を新たに策定より具体的に明確にしている 		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・公私を充実したものにして欲しいとの思いから希望休・有給取得ができる限り叶えられるよう配慮しそのため有給取得率は90%を超えている ・事情により緊急の休みのが出た場合は各リーダーがサポートに入るなど安心して休める体制がある 		
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員は目標管理シートを記入し年3回の面談時に各リーダー職と目標の達成度を確認をしながら今後の課題や目標修正を共にしている また必要に応じて施設長との面談を実施し課題解決に取り組んでいる ・新任職員は育成担当者が付きチェック表を用いて自己評価と担当者評価を1週間、1か月、3か月、6か月、1年ごとに実施し職員の確実なステップアップになっている 		
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・OJT委員会で年間研修計画を策定し計画的に研修を実施している また個々の課題や施設として期待する役割に応じ施設長が必要な研修の受講を促している ・県内乳児院の合同研修では初回の研修を主催し他の取組を学び合い情報交換や課題解決につなげている 		
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の経験や役割などを考慮し外部研修への参加を促している ・院内研修では職員が講師を務め日々の実践を整理して共有し自らの理解を深め専門性を高める機会にしている ・研修後はアンケートを実施し理解度や今後の課題を把握し次の研修へ活かしている 		
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・実習マニュアルは「基本方針」「窓口」「オリエンテーションの実施内容」「実習内容」を明確になっており実習生が体系立てて理解できるよう工夫されている ・マニュアルは実習生アンケートをもとに検証し見直しが明確になっている また職員に向け「実習生受入れ時の注意事項」に支援場面ごとの留意点を記載しいつでも誰でも確実に実習生の受入れができるようにしている 		

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・社会福祉法人の規定に基づき財務諸表などをWAMNETに公開している ・ホームページに理念・基本方針・定款・職員構成・決算書などを掲載し運営の透明性を確保するよう努めている ・ホームページには広報誌「ぎゅっとだきしめて」を掲載している その中には子どもたちの様子や寄付への感謝の写真を載せ施設の活動を伝えている	
② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・社会福祉法人の規定に基づき適正な運営が行われている ・法人は経理規程を定め、担当者はそのルールに沿って管理・運用を行っている ・必要に応じて外部専門家から助言を受けて適正な運用の強化に努めている	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
① 23 こどもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・地域支援活動委員会の設置要綱に目的と活動内容を定め交流している ・職員は日頃から近隣への挨拶を心がけ関係づくりを大切にしている ・防災訓練では起震車体験を実施し近隣の方々に声をかけて参加を促し子どもたちとの交流の機会にしている ・毎年、お祭りを開催しボランティアや里親、卒園児と交流を深めるこどもと地域の交流に努めている	
② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・ボランティアの受け入れマニュアルを整備し活動時の留意事項を明示している ・衣服やシーツなどへの名前付け・こども用品の裁縫・植栽管理など様々な場面でボランティアの活動の場があり、こどもたちの生活を支えている ・今年度、酷暑の対策として体を冷やすためのグッズを依頼した所こどもに軽くて・可愛く・明るく・こどもたちが持ちたくなるようなリュック型の保冷バッグがこども全員分提供されていた 職員もこども達も喜んでおりボランティアとの関係性が垣間見られた	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	
① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・一時保護やショートステイなどを常に整備しいつでもこどもを受入れられるようにしている そのため関係機関と連携を密にとり、緊急受入れマニュアルの整備、職員への理解を求める、毎朝空の確認など日々努めている ・児童相談所・県内の乳児院連絡協議会・児童養護施設・里親、病院など密に連携し日々の情報共有や報告に努めている ・児童相談所や支援課との連絡会や地区要保護児童対策地域協議会などを通じて支援を調整し、地域全体で子どもを守る体制を築いている	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・要保護児童対策地域協議会や支援課との情報交換から地域の課題を把握に努めている またショートステイ利用者や地区の子育てサロンで参加者、お祭り時など声を聞き地域のニーズや子育て家庭の状況を知る機会としている	
② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・地域の子育てサロンへ職員を派遣し相談やアドバイスをするなど地域の子育て家庭を支えている ・昨今、ショートステイの利用希望者の増加に対し可能な限り受け入れに応じている	

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 こども本位の養育・支援

(1) こどもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 こどもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護委員会を設置し職員は権利擁護について理解を深め日頃の養育を振り返る機会としている ・職員はこどもを尊重した支援を日々意識して行うよう声のかけ方のポイントを目に入りやすい場所に掲示している ・毎朝「より適切な関わりをするためのチェックポイント」や「具体的に褒める・会話の繰り返し・行動を言葉にする」を確認している 		
②	29 こどものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットの窓には子どもの目線より下にスモークシートを貼り外からの視線を遮りプライバシーを守れるよう配慮している ・おむつ交換は決まった場所で行い担当者が自分の体を壁のようにしユニット内の子ども達からも視線を遮るよう配慮している ・個人情報情報や写真などは規程とマニュアルを整備し職員は遵守している 		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へパンフレットや面会時の留意事項など資料をもとに双方確認しながら丁寧に説明している ・面会や電話連絡時に支援方針・こどもの成長やエピソード・健康状態などを伝え保護者がこどもの成長を追っているよう努めている ・現在、パンフレットをよりわかりやすい内容に改定している最中である 		
②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種や写真、散髪については入所時に保護者の意向を確認、同意書を受け取り職員が安心して支援を行える体制にしている。意向変更時はいつでも変更できるようにしている ・個人情報の取り扱いについても同様に承諾を得ている 		
③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭支援専門相談員や里親支援専門相談員が措置変更先の施設や里親と密に連携し新しい環境にこどもが安心して慣れていけるよう一人ひとりに合わせた支援を行っている ・退所後も必要に応じ退所後も相談や訪問を継続し7歳まで誕生日カードを送るなど継続した支援を行っている ・退所後に向けてこどもたちの成長の空白期間が無いようアルバムを作成している 		
(3) こどもの満足の向上に努めている。		
①	33 こどもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児は4人で1ユニット、1歳児以降は6人で1ユニットで養育担当者が退所まで継続して関わり愛着関係を築く体制で支援を行っている ・言葉で伝えることが難しいこどもの気持ちを仕草・表情・視線から汲み取るよう努めている ・1対1の時間を作り愛着関係を作り、その子が求めていることも丁寧に拾い上げようと努めている ・ユニット会議では発達や日々の様子を共有し支援の振り返りを行って処遇計画に反映させこどもが満足できるよう努めている 		
(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決規程を策定し苦情解決責任者・受付担当者・第三者委員を配置している ・面会の振り返りから気になることを拾い上げ課題抽出し支援に反映している 		

② 35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。		a
【判断した理由・特記事項等】		
・保護者が安心して話ができるよう個室で相談できる環境を整えている ・必要に応じて児童相談所の担当者も同席する面談を行い関係機関と情報を共有し保護者が安心して相談できる体制を築いている ・入所時に保護者に書面で説明し、さらに施設内にも掲示し見学時に確認できるようにしている ・意見箱を設置し匿名でも安心して意見や要望を伝えられる環境を整えている		
③ 36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		a
【判断した理由・特記事項等】		
・家庭支援専門相談員や施設長が中心となり保護者の不安な思いを丁寧にくみ取りながら丁寧に相談に応じている ・すぐに解決できない事項については解決の糸口を見つけるまで話し合いを重ね保護者が不安解消するまで支援に努めている		
(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		
① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		a
【判断した理由・特記事項等】		
・年間安全計画を策定し場所ごとの安全点検や緊急時の対応訓練、研修内容を4期に分けて計画的に実施している ・年度初めは食事・入浴・施設外活動などリスクの高い場面に焦点を当てた研修を毎年行い危機管理意識を高め事故防止に努めている ・散歩コースや公園の安全確認・交通安全指導・施設設備の点検を一年を通して行い安全確保に努めている ・事故防止委員会やユニット会議でヒヤリハットやアクシデントを分析しすぐに対策を講じている ・雨の日や酷暑で屋外遊びができない場合でも部屋の工夫や廊下を活用するなど子どもたちが思う存分体を動かせる環境を提供している		
② 38 感染症の予防や発生時におけるこどもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		a
【判断した理由・特記事項等】		
・感染症予防と発生時の対応マニュアルを策定し全職員が迷わず行動できる体制を整備している ・来訪者にはうがい・手洗い・検温・体調確認・院内の消毒や清掃の徹底し感染症の発生予防に努めている ・感染症が発生した場合のプランが作られている 例えば出入口を別にする・隔離するなど様々なプランがあり感染症が発生した場合は看護師を中心に感染症拡大防止に努めている		
③ 39 災害時におけるこどもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		a
【判断した理由・特記事項等】		
・防災対策委員会を中心に安全確保の取組を進めている ・安全計画マニュアルに地震・火災・水害・落雷・台風など災害別の役割分担や対応方法・震度別の行動・非常時持ち出し品・対応フローチャートなど具体的な指示が示されている ・訓練は庭で遊んでいる時・食事中・夜間などさまざまな場面を想定して実施し起震車を活用した地震体験訓練も取り入れている ・今年度は施設内防災設備や備蓄の確認、炊き出し方法や災害時の献立、試食など実際に想定した訓練を行っている ・今年度は県内乳児院とお互いに助け合う合同訓練を行い支援物資の配送などの訓練の予定である ・さらにBCPの見直しを進めており年度内に新たな計画を完成させ来年度からの運用を予定している		

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。		a
【判断した理由・特記事項等】		
・マニュアルはこどもに起こりやすい皮膚トラブルへの対応や処置方法・食事の食べさせ方や姿勢、食具の使い方など場面ごとの具体的な支援方法が記載されている またチェックリストがあり細部に確認できるよう工夫されている		
② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		b
【判断した理由・特記事項等】		
・マニュアルの見直しの重要性は十分に理解しているが実行に至っていない ・今後は支援の振返りを行い定期的なマニュアルの見直しに期待したい		

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・養育担当者を中心にユニット内で子どもの生活や発達をアセスメントし原案を立て、その後各リーダー会議で確認し策定している		
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
【判断した理由・特記事項等】 ・日々の記録や再アセスメントの結果をもとに、ユニット内で計画を見直した後リーダー会議で多職種の意見を取り入れ必要に応じて修正しながら総合的に支援内容を再評価している ・子どもや保護者の状況に変化があった際には速やかに対応している ・今後は全職員が全利用者に対して見直しが行われていることを求めます		
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
①	44 こどもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・日々の様子は朝夕の申し送りやユニット会議で共有し、記録だけでは伝わりにくい細かな変化も情報交換するよう努めている ・さらにパソコンを活用した情報共有や定期的な会議により支援に必要な情報を確実に共有している		
②	45 こどもに関する記録の管理体制が確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・こどもや保護者の個人情報ファイリングルールに沿って整理し鍵付き書庫に保管している ・職員は入職時に機密保持義務や個人情報の取り扱いについて説明を受けルールを遵守している ・パソコンはワイヤー施錠、電子媒体を持ち出す際の方法を定め職員は遵守している		

内容評価基準（22項目）

A－1 こどもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) こどもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 こどもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・権利擁護委員会を設置し組織全体で子どもの権利を守る意識を高めている ・服務規程や倫理綱領の読み合わせを行い子どもを尊重する姿勢を共有している ・さらに毎朝「より適切な関わりをするためのチェックポイント」や「具体的に褒める・会話の繰り返し・行動を言葉にする」を読み合わせ日常の言葉かけや支援に活かしている ・施設長や各リーダーが養育に入り日々の支援状況を確認し必要に応じて助言している		
(2) 被措置児童等虐待の防止等		
①	A2 こどもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・職員は毎月「より適切なかかわりをするための自己点検チェック表」で日々の養育を振り返っている ・施設長は内容を確認し変化が見られた際は話を聞く、支援の様子を確認するなど不適切な支援を未然に防ぐよう努めている また会議で不適切なかかわりの事例を共有し施設全体で虐待防止に努めている		

A－2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A3 こどものこころによりそいながら、こどもとの愛着関係を育んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】 ・職員は1対1でこどもに向き合い養育担当者が退所まで一貫して向き合い要求に丁寧に答えながら愛着形成関係を築いている ・施設はできるだけ抱っこを推奨し子どもの安定を図っている ・さらに1対1で子どもと向き合える時間をできるだけ設けている ・ゆったり関わられるよう施設長や各リーダーがサポートし職員が子どもと向き合える環境を整えている		

②		A4 こどもの生活体験に配慮し、こどもの発達を支援する環境を整えている。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが自分のものとして理解し安心できるよう全ての持ち物にマークや名前を付けている ・入所時に一人ひとりに小さなぬいぐるみを渡し寝る時・心細くなった時・通院するとき・ちょっと不安定な時など渡し安心してすごせるよう配慮している ぬいぐるみは退所時にプレゼントしている ・見学当日こどもは職員を手本におやつ作りに挑戦し自分の手で作ったものを食べる体験を楽しんでいた 職員はこどもが作っている時に盛り上げる声を沢山かけていた 			
(2) 食生活			
①		A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・授乳量を記録し日々の体調や飲み具合に応じてタイミングと量を調整している ・調乳室ホワイトボードに授乳量を一目で把握できるように表示し共有しやすく情報の行き違いを防いでいる ・授乳時間が重なった際は各リーダーがサポートに入り落ち着いて授乳できる体制を整えている 			
②		A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・離乳の進み具合に応じた2週間ごとの食材や分量を示したスケジュール表を作成し咀嚼や嚥下の様子を丁寧に確認しながら一人ひとりに合わせて無理なく進めている ・歯固め用のにんじんスティックなどを用意し楽しみながら食べる力が育つよう工夫している 			
③		A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・職員は「〇〇だよ」「こっちも食べてみる？おいしいよ」など声をかけながらこどもが食事を楽しめるよう努めている ・時には目の前でおやつや食事が出来上がっていく過程を見せ香りや音でもワクワクできる体験を取り入れている ・ドレッシングを自分で選べるようにするなど選択を楽しめるようにしている ・調理担当者は食事場面の観察や給食会議の検討結果・検食簿の振返り・養育担当職員の意見を集め日々の献立や調理に反映している 			
④		A8 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの嗜好や成長段階、アレルギー等の健康状態を考慮して献立を作成し必要に応じて個別対応を行っている ・毎月の給食会議で食事の残量の確認や職員からの意見を聞き取り食べやすさ・献立・調理方法の改善に活かしている ・アレルギー食は食材ごとの可否を示した○×表を職員の目線の位置に掲示し食事提供時の安全確認を徹底している ・いちごやサツマイモを育て収穫したものをこどもと一緒にクッキングし食への興味や楽しさを広げている 			

(3) 日常生活等の支援		
①	A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・養育担当職員が一人ひとりの成長や好み、特徴を踏まえて衣類を選び担当児ごとの引き出しに整理・保管している ・幼児には「どれを着たい？」などと声をかけ自分で選び希望が叶う機会にしている 		
②	A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・快適に眠れるよう室温・湿度・照明を調整し静かな環境を保っている ・ベビーセンサーの活用や職員によるプレスチェックを行い睡眠中の安全を確認している ・布団やシーツには入所時からのマークを縫い付け自分の物である安心感を持てるようにし布団は固定の場所で落ち着いて休める環境を整えている ・入所時に決めた自分だけのぬいぐるみを手元に置き安心感を得られるようにしている ・読み聞かせ・子守唄・添い寝を行い安心して眠りにつけるよう支援している 		
③	A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日入浴・沐浴を行い、清潔を保つとともに心地よい時間となるよう努めている ・タオルと着替えは予め一人ずつセットしてすぐに使えるように準備しスムーズに入浴が進むよう努めている ・入浴用の玩具や浴室の壁にお風呂ポスターを掲示し楽しみながら過ごせるようにしている ・季節に合わせてしょうぶ湯などを取り入れ、入浴の時間をより楽しいものにしている 		
④	A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ替えの際は穏やかに声をかけ、きれいになった心地よさを感じられるようにしている ・一人ひとりの発達に応じて排泄の取り組みを自立支援計画に反映させ支援している ・トイレに行く、便座に座るなど「やってみたい」というこどもの気持ちを尊重し支援に努めている ・少しでも取り組めたこと一緒に喜び、できないことや失敗したことは時間を変えてまた誘うなど丁寧な支援を行っている 		
⑤	A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの要求や興味・発達に合わせて職員が個々におもちゃを出している ・職員はこどもに必要なと思われる本を自ら持参しこどもとの時間を楽しんでいる ・廊下も含め院内スペースを最大限に活用し体を動かしながらのびのび遊べるように環境を用意している ・屋外ではコンビカー・滑り台付きのプレイハウスでを思いきり遊んでいる ・散歩も頻繁に行っている 		
(4) 健康		
①	A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・看護師を中心に健康管理を行っている ・乳児・幼児それぞれのユニットに看護師を配置し保育士と連携して生活ケアや養育支援を行っているため日々の小さな変化にも気づきやすい体制となっている ・万が一に備え毎年6月までに心肺蘇生研修を実施し全職員が緊急時の訓練をしている ・嘱託医が施設の隣にあり迅速な診察や相談が可能な環境を整えている 		
②	A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・配薬は看護師長が行い必要時に必要分を各ユニットへ届けている ・不在時には権限委任がルール化されている ・服薬時はユニットにいる看護師と職員がダブルチェックを実施し服薬を行っている ・通院は看護師が付き添い医師と連携して健康状態を把握し日常の養育・支援に反映している ・定期的な検診や予防接種は嘱託医が実施し継続的な健康管理を行っている 		

(５) 心理的ケア		
①	A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から念願であった心理士を配置し、専門的な支援体制を整えている 心理士は自らユニットに入り子どもの様子を確認し職員と共に子どもの状況に応じた適切な関りと支援計画を立てている ・児童相談所の心理職と連携し情報を共有しながら養育や支援を行っている ・ケースによっては児童相談所の会議に自ら参加し支援方針と一緒に検討している ・現在、看護師と共に職員のストレスチェック表を作成し施設全体のケアを行っている 		
(６) 親子関係の再構築支援等		
①	A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭支援相談員が児童相談所と連携し支援計画を立て家庭支援に努めている ・保護者の話を丁寧に聞くことを第一にし安心して思いを語れる場になるよう努めている ・長く面会ができない場合はこどもの写真を保護者におくり様子を伝え続けている また面会時は成長を喜び合える関係を築けるよう努めている ・面会時は親子の写真をたくさん撮影し思い出をたくさん作れるよう配慮している ・職員は保護者に寄り添って信頼関係作りに努め、親子が少しずつ関係性を築けるよう努めている 		
②	A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭復帰に向けたプログラムを策定し計画的な支援に努めている これは面会から外出・宿泊訓練・外泊・一時帰宅などスモールステップで進められている ・1LDKの親子訓練室で宿泊訓練を行い食事を作る・お風呂に入れる・洗濯をする・一緒に遊ぶなど帰ってからの生活が具体的にイメージできるよう支援している ・訓練中に困りごとが生じた際は職員が寄り添い助言やサポートを行っている ・家庭復帰にあたっては児童相談所や行政など関係機関と支援の方向性を話し合い共有している 		
(７) 養育・支援の継続性とアフターケア		
①	A19 退所後、こどもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・退所後も必要に応じて児童相談所と連携し家庭訪問を行う等こどもの生活の様子や困りごとを確認し安心して暮らし続けられるよう見守りながら必要な支援が受けられるよう支援している ・7歳まで誕生日カードを送り見守っている 		
(８) 継続的な里親等支援の体制整備		
①	A20 継続的な里親等支援の体制を整備している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・里親支援専門相談員を配置し児童相談所などの関係機関と連携しながら里親委託を推進している ・県内の乳児院と合同で里親制度の普及・啓発活動を実施し制度の理解や普及に努めている ・里親支援専門相談員は里親候補者の養育における戸惑いや不安に丁寧に応え必要に応じて親子訓練室で関わり方や育て方を具体的に訓練し安心してこどもを迎え入れられるよう支援している ・委託後は家庭訪問を行い継続的に相談に対応し里親が一人で悩みを抱え込まないよう支援に努めている 		
(９) 一時保護委託への対応		
①	A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・一時保護のマニュアルを策定し職員は手順や確認事項など徹底し入所している子もこれから入所する子も安全に受け入れられる体制を整えている ・施設は積極的に受け入れる方針を示し毎日受け入れ可能な人数を職員へ伝え、施設長不在時にもできる限り受け入れられる体制を整えている 		
②	A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の受け入れとなることが多いことから施設長は夕方の引き継ぎ時に受け入れ可能な人数を職員に伝え、子どもの安全を最優先に空きがあれば積極的に受け入れている ・夜間帯の職員が確実な対応できるよう確認事項を電話の横に掲示するなど安全に受け入れが行えるよう努めている 		